

昭和36年度および37年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して

東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 まで申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行われます。詳細は各受持委員にご照会下さい。

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
気候	1月	11/30日	長期予報：朝倉
気象統計	1月	11/30日	長期予報：朝倉
太陽活動	2月	11/30日	長期予報：朝倉
観測と測器	2月	12/31日	測器課：清水
大気大循環	2月	12/31日	予報課：石原
長期予報	2月	12/31日	長期予報：朝倉
前線について (総観気象・レーダー)	3月	1/31日	予報課：石原
航空気象	3月	1/31日	東京航空：上松
山の気象	6月		大井
乱流	6月		清水
高層気象	7月		大井
低気圧	7月		石原・松本
気象学史と気象教育	8月		渡辺(和)
生気候	9月		神山

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
大気汚染	9月		神山
気象災害	10月		渡辺(和)
風のシンポジウム	11月		清水
台風	11月		石原・松本・渡 辺(和)
気象統計	11月 (38年)		朝倉
太陽活動と放射	1月		朝倉
気象電気	1月		今井
気候	1月		朝倉
長期予報	2月		朝倉
レーダー気象	2月		今井
観測と測器	2月		清水
メソ気象	3月		松本
対流雲	3月		松本・今井・渡 辺(和)
航空気象	3月		上松

2月の例会

観測と測器

会期：昭和37年2月20日(火)14時30分より

会場：気象研究所(東京都杉並区馬橋)

主題：レーダー

座長：吉武 素二

講演

小平 信彦(気研台風)：アメリカ気象学会第9回気象レーダ会議に出席して

自由討論

これからの気象レーダーは如何にあるべきか。

長期予報

会期：昭和37年2月24日(土)

会場：気象庁第1会議室

講演題目

1. 広瀬 元孝(気研予報)：太陽活動度と月平均500mb天気図との関係(15分)
2. 松倉 秀夫(仙台管区)：緯度変化の長期予報への応用(気候変化に見られる36~37年周期性との関係について)(25分)
3. 高橋浩一郎(気象庁予報部)：最小自乗法による500mb高度の予想について(15分)
4. 磯野 良徳(気象庁予報部)：北半球バロクリニクモデルによる延長予報について(20分)
5. 八重樫佐平(仙台管区)：北半球における500mb高度の緯度変化について(第1報)(25分)
6. 斉藤 博英(札幌管区)：北海道の夏の気候に対する太陽活動の影響(15分)
7. 斉藤 博英(札幌管区)：北海道の夏の気温予想の一方方法(10分)

1962年1月